

ヒロシマ・ナガサキ・ヒバクシャの思い受け継ぎ世界へ 世界青年のつどい成功めざす全国交流ニュース

[2006年6月14日 No.5]

発行: 第2回世界青年のつどい準備委員会 電話03 5842 6035 FAX03 5842 6033
URL http://www.geocities.jp/youth_against_nukes/index_jp.html Eメール youth_against_nukes@yahoo.co.jp

たとえ小さなことでも、草の根の行動が大事

青年通し行進者が頑張っています。創意工夫をこらして一緒に楽しく歩きましょう。

青年通し行進者紹介

北海道 田崎遊さん(20歳)

道内の青年平和サークル「Peace Winds」や平和行進の札幌実行委員会の事務局を務め国民平和大行進根室コース・日本海南コースを約1ヶ月かけて通し行進をした田崎遊さん(20)は、1ヶ月間歩き、長かったけど、核兵器なくそうという運動が草の根で支えられていると思いました。札幌市内だと何百人で行進しますが、地方では5人で歩くこともあります。そうした小さなことこそ大事だと実感しました」と言います。



核廃絶署名を呼びかけると、家の中から出て来て署名する人も。初めて応じた自治体首長や、募金が増えた地域もありました。「青年分野の足並みをそろえてがんばりたい」と意気込みます(6月15日付『平和新聞』より)

三重 今井杏菜さん(19歳、写真右)

「被爆者の方々が年々高齢化する中で、私たち若者が何をできるのかを考えたい。世界全体を見渡したい」とバンクーバー世界平和フォーラムに参加する今井杏菜さん(短大生)が、津市まで3日間歩き続ける決意を表明しました。



福島 小林竜児さん(26歳)

福島県内通し行進者の小林さんは、昨年「核兵器なくそう・世界青年のつどい」に参加するために車で広島に行きました。10月には原爆症認定集団訴訟全国交流集会や国会前座り込みにも参加しました。平和への思いをふくらませています。

世界平和フォーラム参加者の声

栃木 「バリバリ バンクーバー」という実行委員会を結成して参加費を集めるためのカンパ活動を積極的に行い、2人分の参加費を集めて世界平和フォーラムに参加する青年2人の決意を紹介します。

高山直(たかやま・なお)

私は大学4年生の高山直です。今年度は卒業研究、就職活動に忙しい日々を過ごしていますが、世界平和フォーラムへ行きたいと思います。日本はアメリカの言いなりから脱却し、現行の憲法を守ることができる国になるべきであると考えます。

バンクーバーでは、たくさんの人々との交流を通じて平和への考えを深め、またメッセージを持ち帰ってきたいと思います。

葛西愛(かさい・まな)

「バンクーバー世界平和フォーラム」では、私が今までたくさんの人から学んだ事、被爆者の事をいろんな国のたくさんの方に伝えたいです。多くの人が同じ思いで集うのだから、私も、自分の気持ちを伝えてきます。

ポスターは1枚20円、フライヤーは1枚3円です。ご注文は電話・FAX・メールで